

東京大学大学院農学生命科学研究科  
生物・環境工学専攻(水利環境工学専攻分野) 准教授 公募

1	職名	准教授
2	募集人数	1名
3	採用予定日	令和4年11月1日以降
4	任期	なし
5	勤務地	東京都文京区弥生1-1-1 弥生キャンパス
6	所属□	大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻 地域環境工学大講座
7	業務内容	1) 研究領域：水利環境工学 農業農村地域における水・物質循環および農業水利システムの水利設計・制御操作・維持管理に係る研究。 2) 学部科目の担当：水理学，水理学演習，水利環境工学，水文学，水工システム学，流れ学，応用解析および演習Ⅰ，Ⅱ，生物・環境工学実験Ⅰ，生物・環境工学実習，卒業論文等。 3) 大学院科目の担当：水理学特論，水利環境工学特論，生物・環境工学実験実習，生物・環境工学演習，生物・環境工学特別実験実習，生物・環境工学特別研究Ⅰ・Ⅱ。
8	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）
9	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等
10	給与	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。 参考 博士修了/34万円～ 諸手当、賞与（年2回）、通勤手当（原則55,000円まで）の他、本学の定めるところによる。
11	社会保険等	文部科学省共済組合、厚生年金保険、雇用保険（法令の定めるところにより加入）
12	応募資格□	1) 博士号取得者（または採用日までに取得見込の者） 2) 上記の研究領域で優れた研究業績を有し、今後、独創的かつ高水準な研究を展開することが期待できる者。 3) 当該専攻分野を主導し、学生の教育・研究指導等を積極的に行える者。 4) 上記6の研究領域および講義・演習・実験を担当可能な者。 5) 国際的視点に立った教育研究活動や産官等との社会連携を積極的に展開できる能力と熱意を有すること。
13	提出書類	1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること） <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html</a> 2) 業績リスト(学位論文，原著論文，著書，総説，その他) 3) 主要論文別刷5編以内 4) 教育業績 5) 競争的資金の獲得状況(過去5年程度) 6) 社会貢献(学会活動，委員会活動等) 7) これまでの研究の自己評価と今後の研究の方針ならびに抱負(2000字程度) 8) 学部学生・大学院生に対する教育方針(2000字程度)
14	応募締切	令和4年8月1日(月) 必着 郵送と同時に、応募書類一式をPDFにして、下記メールアドレスに送信してください。 書類選考の上、合格者に対し面接を実施します。
	書類送付先	〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻 担当：吉田修一郎(専攻長)

15	及び 問い合わせ先	TEL: 03-5841-5344 E-mail: agyoshi[at]mail.ecc.u-tokyo.ac.jp ([at]は@に置き換えてください) 封筒に「准教授 応募書類在中」と朱書し、記録が残る方法で送付のこと。
16	試用期間	採用日から6ヶ月間
17	募集者名称	国立大学法人東京大学
18	その他	<p>応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。</p> <p>取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。</p> <p>東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。</p> <p>外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。</p> <p>日本語と英語の能力を考慮する。</p>